

【事業名】蓄電池カーボンフットプリント(CFP)に関する検証制度の構築試行事業

事業者名：一般社団法人サステナブル経営推進機構

実施期間：令和5年12月～令和6年2月

1. 事業の背景・目的

経済産業省の「蓄電池のサステナビリティに関する研究会」において公表された「車載用電池のカーボンフットプリント算定方法(案) ver1.0」に基づく検証プロセスを提案し構築することを目的として実施する。検証制度に際しては申請にご協力頂いた18社からの情報提供等を基に実施した。

2. 補助事業の概要

：補助対象経費の範囲

健全な製品エコシステム構築・ルール形成促進事業(蓄電池)

世界各国における環境規制等の動向を背景とする

蓄電池のエコシステムの構築に資する実証事業(蓄電池カーボンフットプリント(CFP)に関する検証制度の構築試行事業)

蓄電池等の持続可能な製品エコシステムの構築、サプライチェーン管理・認証・評価等のシステム構築、その運用に係るルール・制度等の形成

業界横断的課題：CFPの算出結果の信頼性を担保し、サプライチェーン上のデータ連携に資するルール形成

実施内容

1. 蓄電池CFPの検証制度の仮構築

- 算定ルールの特定
- 算定ルールへの適合性評価手順の策定
- 蓄電池およびその部品のCFPの算定結果の申請書類の特定
- 適合性評価を行う評価者の要件
- サプライチェーン連携時の適合性評価結果の共有のルール

申請受理の案件

・合不合に関わらず事業者(10社)が蓄電池CFPの算定における必要な要件を理解

申請不受理の案件

・フィードバックを通じて事業者(8社)が蓄電池CFPのデータ検証に必要な要件を理解
※課題や対応の方向性として知見を蓄積

上記1.で仮構築した項目について検証制度として取りまとめ・提案

- 算定ルールの特定
- 算定ルールへの適合性評価手順
- 蓄電池およびその部品のCFPの算定結果の申請書類の要件
- 適合性評価を行う評価者の要件
- サプライチェーン連携時の適合性評価結果の共有のルール

2. 蓄電池およびその中間部品の製造事業者のCFP算定結果の申請審査・検証を行い、申請事業者の結果をフィードバック

3. 我が国の蓄電池CFP検証制度の提案

CFP検証制度の提案および、算定事業者の理解促進を通じて、我が国の電池の製品エコシステム構築に資することとし、もって自動車の電動化技術の社会実装による2050年カーボンニュートラル実現に向けて運輸分野のCO2削減に貢献